



研究のキーワード

- ・ 知能化ネットワーク
- ・ ベイズ最適化による物理モデル推定
- ・ ノンパラメトリック回帰による植物成育度の推定
- ・ リカレントニューラルネットワークによる時系列データ予測

3 すべての人に健康と福祉を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを



実習テーマの例

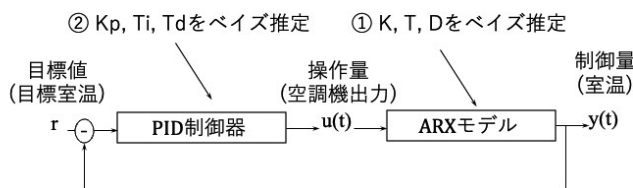
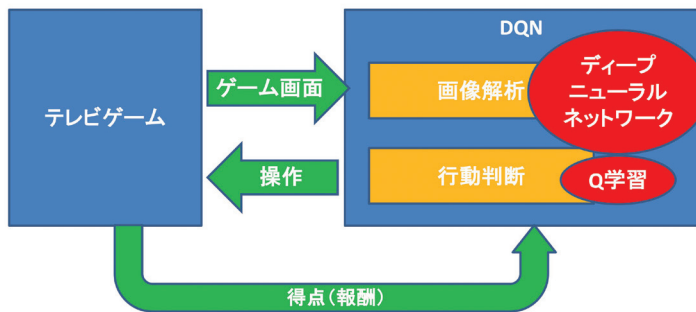
- ディープラーニングを動かしてみる
- ディープラーニングのプログラミング基礎
- ディープラーニングのプログラミング応用

	実習回数		
	1回	複数回	半年・通年
● ディープラーニングを動かしてみる	○	-	-
● ディープラーニングのプログラミング基礎	-	○	-
● ディープラーニングのプログラミング応用	-	-	○



実習テーマの内容

画像を解析し、得点が高くなる
行動を取るように学習



強化学習

通常のAIの学習は、教師あり学習と言って、人間が正解データを大量に用意してやる必要がある。一方、強化学習では、正解データなしにAIが自力で学習する。強化学習は、エージェントというプログラムが、環境情報を取得し、それに対して行動を起こし、いずれ得られる報酬によって、行動の良し悪しを学習していく。

高校で実習を行う場合に準備が必要となるもの

全員（または全チーム）分のパソコン（想定人数40人以下）

- パソコンの条件
- 最新のWebブラウザ（Chrome, Firefox, Edge等）が動くこと。
 - Webブラウザから公立諏訪東京理科大学のWebサイト（*.sus.ac.jp）へのアクセスが可能であること（HTTPSやWebSocketがブロックされていないこと）。
 - WebブラウザのJavaScriptが動作すること（機能停止されていないこと）。